

大宮区新庁舎 来月 7 日オープン



絹糸をまとったような外観の大宮区役所新庁舎＝11日、佐伯和宏撮影

図書館やカフェ併設

さいたま市は11日、大宮区役所新庁舎を5月7日にオープンすると発表した。大宮図書館やカフェなどを併設する。大宮駅東口にある現庁舎は老朽化しているため、来年3～5月に国際芸術祭の会場として使った後、解体する見通し。

新庁舎の総事業費は199億円で、地上6階、地下1階建て。大宮駅東口の現在の庁舎から約500㍍南にある。2017年6月に着工し、今年3月に完成した。周辺はかつて製糸業が盛んで、新庁舎は絹糸を

まとったような外観にした。

区役所は主に1、2階で、4階に保健センター、5階に課税課などが入る。図書館は1～3階で、蔵書数は30万冊と市立図書館では3番目に多い。指定管理者制度を導入し、開館時間は午前9時～午後9時半で、年間約360日開く。

1階には図書館の展示スペースやコンビニエンスストア、情報公開コーナーやカフェを設置。1、2階の一部は吹き抜けで、ロビーコンサートなどイベントができる広場になっている。

市民向け内覧会は5月6日午前10時～正午と午後1時半～3時半に2回開く。事前申し込みは不要。問い合わせは、市区政推進部(048・829・1834)へ。